

# 展示キャプションの見方

展示品にはそれぞれキャプションを置いています。展示キャプションの資料名称には、それぞれの ①種類 ②文様 ③形 があらわされています。

さらに推定された生産地と製作年代、図録番号と総目録番号が記されています。

## ①種類

資料の「種類」をあらわす表現が先頭にきます。白磁、染付、色絵、青磁、瑠璃釉など。

## ②文様

描かれている「文様」が次にきます。もっとも目立つ特徴的な文様を選んでいきます。この作例では桜の花と鳥です。

## ③形

「形状」をあらわす表現。この皿は雪輪の形なので雪輪形。

「大小」をあらわす表現。当館では口径16cm未満11cm以上の皿は小皿 口径30cm以上の皿は大皿としています。

「形状や用途による器の名称」を最後に置きます。この資料は皿。

いろ え さくら とり もん ゆき わ がた こ ざら

**色絵 桜鳥文 雪輪形小皿**

有田 1640～1650年代

Small snowflake-shaped dish with bird and cherry design in overglaze polychrome enamels

Arita

0254 1-21



製作された産地

製作された年代

総目録番号

図録の番号 + 掲載番号